

〈 田上地区の課題 〉

防災について

①河川防災

- ◆地区内の山際を除くほぼ全ての土地が、洪水時の浸水想定区域に指定
- ◆治水対策の一環として実施される新川の改修に伴い既存街区の再整備も必要
- ◆田上小学校は浸水想定区域に立地するため、避難所としての安全性確保が必要

②土砂災害防災

- ◆山際でがけ対策を実施する場合には、山際にある街区の再整備や住宅等の移転が必要となる可能性あり
- ◆地区の広い範囲が、土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域に指定

③地震防災

- ◆本地区は土地が液状化する危険度の高いエリアに指定
- ◆建物の半数以上が旧耐震基準で建てられたものであり、倒壊により道路を閉塞させるおそれ

交通について

①道路交通

- ◆県道鹿児島東市来線では、恒常的に渋滞が発生
- ◆鹿児島東西道路が供用されても、現状の道路構成では渋滞が解消されないおそれ
- ◆武岡団地西入口交差点、武岡団地入口交差点、田上IC、JR鹿児島本線踏切、田上橋交差点、学校橋の周辺では、交通事故が多発
- ◆幅員4m未満の狭隘道路が多く分布しており、緊急車両の通行や避難活動に支障

②公共交通

- ◆各バス停留所の周辺は歩道が狭く、待合いスペースが十分に確保されていない

③歩行者動線

- ◆歩道が確保された区間がほぼないため、歩行者動線の安全性に問題あり

土地利用について

①宅地の接道状況と有効利用

- ◆幅員が4m未満の道路にのみ接道し、建築行為等に制限がかかる宅地^{※1}が広く分布しているため、道路と宅地を含めた街区全体の改良が必要
- ◆法外道路^{※2}にのみ接道し、建築行為等が原則としてできない宅地も広く分布しており、道路と宅地を含めた街区全体の改良が必要
- ◆低未利用地や空き家が多く分布しており、土地の有効活用や良好な住環境の保全、防災・防犯上の面で問題あり

その他事項について

①公園緑地

- ◆地区内にはコミュニティ活動の維持や歴史文化の継承に資する公園や、頻発化・激甚化する自然災害時の避難場所となるオープンスペースが不足

②景観

- ◆本地区の主要な景観軸である「新川の河川沿い景観」は、緑地の少ない沿道施設が続き、親水性に乏しい
- ◆本地区周辺の斜面緑地や、神社等のあるシンボル樹の存在が景観的な特長

③歴史資源

- ◆歴史文化的な魅力要素である3つの神社は各町丁目のシンボルであるため、コミュニティ活動の拠点として活用できるよう、周辺の環境整備が必要

④公共施設、生活利便施設、地域活動

- ◆田上小学校の児童数は減少傾向にあり、少子化・高齢化と人口減少が進行することで、将来的に公益施設の維持や地域活動を継続させる担い手が減少するおそれ

〈 計画テーマ 〉

安心・安全で
便利に暮らし続けることが
できるまち

【テーマ実現に向けたまちづくりの考え方】

- 新川の改修と斜面のがけ対策による、自然災害に強いまち
- 県道鹿児島東来線などの道路の渋滞や交通事故の少ないまち
- 狭い道路や空き家・低未利用地の多い街区が改善されたまち
- 新川沿いに水とみどりの景観軸や、安全な歩行者空間が確保されたまち
- 斜面緑地やシンボル樹が保全されたまち
- 田上小学校・神社・各公民館を拠点とするコミュニティ活動が持続するまち

※1:幅員が4m未満の道路にのみ接道する宅地では、建物を建てる場合に道路中心線から2mセットバックする必要がある。

※2:建築基準法の認定を受けていない道路。この道路にのみ接道する宅地では市などの許可を受けていない場合、建物を建てることできない。

防災に関する基本方針

①河川防災に関する基本方針

- ◆洪水時における浸水被害の低減に向けて、新川の河川改修事業を促進しつつ、それに伴って沿川街区の再編を推進します

②土砂災害防災に関する基本方針

- ◆土砂災害による被害の低減に向けて、がけ対策に関する事業を推進しつつ、土砂災害特別警戒区域内にある住宅等の移転を促進します

③地震防災に関する基本方針

- ◆建物やブロック塀等の倒壊による被害の低減に向けて、耐震改修や建替えを促進しつつ、道路の拡幅や新設等によって市街地全体の耐震性を強化します

交通に関する基本方針

①道路交通に関する基本方針

- ◆県道鹿児島東市来線の渋滞解消に向けて、車線拡幅や交差点部における右折・左折車線の設置を目的とした道路空間の再編を促進します
- ◆交通事故の発生抑止に向けて、事故が多発している交差点の改良を目的とした道路空間の再編を促進します
- ◆災害時における緊急車両の通行確保や、土地の有効活用の促進に向けて、狭い道路の拡幅を推進します

②公共交通に関する基本方針

- ◆公共交通の利便性向上に向けて、各バス停留所の待合スペースを設置できる用地の確保や、バス停留所に至るバリアフリー動線の整備を推進します

③歩行者動線に関する基本方針

- ◆地区内における歩行者の安全性確保に向けて、通学路を中心とした歩道や柵等の設置、それに伴う道路空間の再編を推進します

土地利用に関する基本方針

①街区の改良や再編に関する基本方針

- ◆建物の新築や改築等の阻害要素となっている幅員4m未満の道路や法外道路にのみ接道する宅地の解消に向けて、街区の改良や再編を推進します

②低未利用地の活用に関する基本方針

- ◆土地の有効活用の促進に向けて、空き家や低未利用地の多い街区について、改良や再編を推進します

公園緑地・景観・歴史資源等に関する基本方針

①公園緑地に関する基本方針

- ◆コミュニティ活動や歴史文化の継承、地域住民の健康維持の場、自然災害時の避難場所となるオープンスペースの確保に向けて、低未利用地の有効活用を促進します

②景観に関する基本方針

- ◆良好な自然景観要素である斜面緑地やシンボル樹を保全するとともに、新川沿いをシンボリックな地区の水と緑の景観軸として位置付け、緑道整備や無電柱化を推進します

③歴史資源に関する基本方針

- ◆3箇所の神社周辺を地域のコミュニティ活動の拠点として位置付け、周辺の環境整備を推進します

④公共施設や地域活動維持に関する基本方針

- ◆地域活動を将来的にも維持していくため、コミュニティ機能の拠点となる集会所や公園、子育て支援機能の拠点となる教育施設を集約した基盤整備を図ります

1. 本地区の位置と概要

- 1-1 本地区の位置
- 1-2 本地区の概要
- 1-3 本地区の沿革

2. 上位・関連計画等の整理

- 2-1 第六次鹿児島市総合計画
 - (1) 課題
 - (2) 基本的方向
 - (3) 主要な施策・事業
- 2-2 第二次かごしま都市マスタープラン
 - (1) 基本目標ごとの方針
 - (2) 武・田上地区の地域別構想
- 2-3 かごしまコンパクトなまちづくりプラン
(立地適正化計画)
- 2-4 鹿児島市景観計画
- 2-5 第二次鹿児島市まちと緑のハーモニー
プラン(緑の基本計画)
 - (1) 緑に関わる主な資源
 - (2) 主な施策・事業
 - (3) 武・田上地区の緑の方針

3. 関連事業等の整理

- 3-1 新川水系流域治水プロジェクト
- 3-2 新川改修計画
- 3-3 鹿児島東西道路整備事業
- 3-4 令和4年度 田上小学校周辺面の整備
基礎検討業務(がけに関する調査)
 - (1) 「がけ」に関する調査の概要
 - (2) がけ対策のケーススタディ
 - (3) ケースごとの対策費用と土地利用制限範囲

4. 社会的条件実態調査

- 4-1 人口及び世帯数
 - (1) 人口・世帯数推移
 - (2) 年齢別人口推移
- 4-2 社会的圏域調査
 - (1) 学校区
 - (2) 町内会構成
- 4-3 社会的活動
 - (1) 中園町内会(田上6丁目)の社会的活動
 - (2) 田上上区町内会(田上7丁目)の社会的活動
 - (3) 田上前区町内会(田上5丁目)の社会的活動
- 4-4 公民館活動
- 4-5 整備歴など
 - (1) 整備歴
 - (2) 水害履歴
 - (3) 土砂災害履歴
 - (4) 火災履歴
- 4-6 苦情・要望
 - (1) 「市長とふれあいトーク」(令和2年10月20日)
 - (2) 「市長と語る会(武岡・明和中学校区)」
事前質問(令和5年5月10日)
 - (3) 町内会長ヒアリング(令和5年7月12日)
- 4-7 地価の現況
 - (1) 地価公示・県地価調査価格
 - (2) 固定資産税・標準宅地の地価
- 4-8 法規制
 - (1) 都市計画法関連
 - (2) 宅地造成等規制法関連

5. 物的条件実態調査

- 5-1 自然条件
 - (1) 地形・水系
 - (2) 地質・土壌
- 5-2 土地利用現況
- 5-3 建物利用現況
 - (1) 用途別建物状況
 - (2) 階数別建物状況
 - (3) 構造別建物状況
 - (4) 建築年別建物状況
- 5-4 交通施設状況
 - (1) 広域交通ネットワーク
 - (2) 道路の状況
 - (3) 交通量の状況
 - (4) 交通事故地点の分布
 - (5) 公共交通の状況
 - (6) 通学路・歩道の有無
- 5-5 公園緑地
- 5-6 排水施設
- 5-7 供給処理施設
 - (1) 上水道
 - (2) 下水道
 - (3) 電気・通信
 - (4) ガス
 - (5) ごみ処理等
- 5-8 公益施設調査
 - (1) 公益施設分布
 - (2) 生活利便施設分布
- 5-9 文化財・歴史的資源
- 5-10 景観の状況
- 5-11 災害ハザードの状況
 - (1) 土砂災害ハザードマップ
 - (2) 水害ハザードマップ
 - (3) 地震災害ハザードマップ

6. 市街地環境評価

6-1 現在の市街地環境評価

- (1) 現況の保全環境要素
- (2) 現況の環境阻害要素
- (3) 現況の不足環境要素

6-2 将来の市街地環境評価

- (1) 将来における保全環境要素
- (2) 将来における環境阻害要素
- (3) 将来における不足環境要素

7. 問題地図の作成

7-1 防災に関する問題の整理

7-2 交通に関する問題の整理

7-3 土地利用に関する問題の整理

7-4 その他の問題の整理

7-5 問題にもとづく総合評価

8. 整備課題の設定と前提条件の整理

8-1 防災

- (1) 河川防災
- (2) 土砂災害防災
- (3) 地震防災

8-2 交通

- (1) 道路交通
- (2) 公共交通
- (3) 歩行者動線

8-3 土地利用

- (1) 宅地の接道状況と有効利用

8-4 その他

- (1) 公園緑地
- (2) 景観
- (3) 歴史資源
- (4) 公益施設、生活利便施設、地域活動

9. 計画テーマの設定

10. まちづくり基本構想の作成

10-1 基本方針の策定

- (1) 防災に関する基本方針
- (2) 交通に関する基本方針
- (3) 土地利用に関する基本方針
- (4) 公園緑地、景観、歴史的資源等に関する基本方針

10-2 基本構想の比較検討

- (1) 基本構想案検討の考え方
- (2) 土地区画整理事業- 1案
- (3) 土地区画整理事業- 2案
- (4) 土地区画整理事業- 3案
- (5) 基本構想案の比較検討

10-3 各種計画の作成

- (1) 人口計画
- (2) 住区計画
- (3) 土地利用計画
- (4) 交通計画
- (5) 公園・緑地計画
- (6) 排水計画
- (7) 供給施設計画
- (8) 公益施設計画

10-4 宅地建築物整備構想の作成

11. 実現方策の検討

11-1 調査地区の種別

11-2 整備手法の区分

11-3 実現方策検討図作成

11-4 設計概要図作成

12. 今後の事業課題

- (1) 潮流等を踏まえた事業推進の考え方
- (2) 事業化に向けた課題・留意点等